

---

# ガンダムSEED Destiny F

MSF

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ガンダムSEED Destiny F

### 【Nコード】

N3275Q

### 【作者名】

MSF

### 【あらすじ】

C・E・76 キラはラクスからアンノウンの排除を依頼される。アスラン、シンと共にアンノウンを撃破した直後謎の光が三機を包み込む。気が付くとそこは見知らぬ世界だった

## プロローグ

C・E・74 メサイア攻防戦はプラント最高評議会議長ギルバート・デュランダルの死と宇宙要塞メサイアの陥落により終結した。

あれから2年後のC・E・76 大戦の英雄であるキラ・ヤマトは執務室で書類仕事していた。

「とりあえず、今日の分はこれで終わりかな」

そうして仕事を終えたキラやることもないので読書をしていたのだが

「P r r r r P r r r r」

「はい、こちらキラ・ヤマト」

「あ、キラ。実はお願いがあるのですが」

「ラクス？それは構わないけど、どうしたの？」

「はい、実は・・・」

ラクスの話によると4時間ほど前にリーダーにおかしな反応があり、調査隊を向かわせたところ、「特に何も無い」と報告の後いきなり通信がとぎれたという。これは何かあったと思い、部隊を派遣したところ「アンノウンと交戦」との報告を最後に部隊との通信が途切れたという。この報告を聞いた評議会はアンノウンの排除を決定。だが、一般兵では勝てないと判断した。そこで大戦の英雄であるキラに白羽の矢がったのである

「うん、わかった。そういえばメンバーはどうするの?」

「それはアスランとシンさんに決められました。本人達にも聞いたところ承諾してくださいました」

「わかった。作戦の開始はいつ?」

「作戦については10分後にブリーフィングを開くのでそのときに説明します」

「わかった、それじゃ」

「はい、よろしくおねがいします」

そういつてキラは電話を切り、ブリーフィングルームへとむかった

## プロローグ（後書き）

へたくソですみません

意見や感想はどんどんください

参考にします

## プロローグ2

キラがブリーフィングルームに到着するとすでにアスランとシンがいた

「久しぶりアスラン、シン」

「ああ、久しぶりだなキラ」

「お久しぶりですキラさん」

ちなみにシンはキラと和解し、精神的に成長したため、心に余裕ができ性格もだいぶ丸くなっていた

「久しぶりだな少年」

キラが振り返るとそこにいたのはかつて砂漠の虎と呼ばれ、現在はエターナルの艦長であるアンドリユー・バルトフェルドであった

「お久しぶりです。バルトフェルドさん」

「ああ。さて全員揃ったようなのでこれよりブリーフィングを始める」

「それではこれよりアンノウン殲滅戦のブリーフィングを行う」

その言葉にその場にいる全員が気を引き締めた

「まず今回の作戦の目標は敵アンノウンの殲滅だ。次に味方および敵の戦力について説明する。まずこちらの戦力はナスカ級が3、およびエターナルだ。次にモビルスーツはガナーザクウォーリアが6、スラッシュザクファントムが6、ブレイズザクファントムが6、そしてストライクフリーダム、インフィニットジャスティス、デステイニーだ」

フリーダムやジャスティスの名が出ると一斉にざわめきがおこった。それもそうだろう。敵がアンノウンとはいえ小規模の作戦に大戦の英雄が出てくるなど誰も予想していなかったのである。

「静かに。次に敵の戦力だがまずはこの画像を見てくれ。」

バルトフェルドがそう言うとスクリーンに二つの画像が映し出された。そして画像が映し出されると再びざわめきが起こった。それもそうだろう。スクリーンに映し出されたのはモビルスーツでもなくモビルアーマーでもない。生き物なのだから。いや生き物というより生物兵器といった方があってるであろう。

「敵の数は15。なお赤いやつを羽付き、黄色いやつを尾付きと呼称する。詳しい数は羽付きが3、尾付きが12だ。それと羽付きは尾付きと比べて数が少なく、体格が大きいことから隊長格のようなものだと思われる。」

「それでは作戦の内容を説明する。まずガンナー隊が長距離砲撃を行い敵の注意を引く。次にガンナー隊に注意が向いている敵をスラッシュ隊とブレイズ隊が左右より挟撃、攪乱する。このときスラッシュ隊とブレイズ隊には敵がなるべく一カ所に集まるように誘導してもらいたい。そしてフリーダムとジャステイスのフルバーストで一気に殲滅する。今回は敵についての情報がいつさいたため短期決戦とする。それでは各員の奮闘に期待する。では解散！」

そうしてブリーフィングが終了した

## プロローグ2（後書き）

次はいよいよアンノウンとの戦闘です。

誤字脱字、感想お願いします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3275q/>

---

ガンダムSEED Destiny F

2011年2月3日15時39分発行